

マイクロマシン／MEMS 分野関連 【2020 年 7 月の経済報告】

令和 2 年 7 月 22 日

本稿は、マイクロマシン／MEMS 分野を取り巻く経済・政策動向のトピックをいろいろな観点からとらえて発信しています。今月の経済報告をお届けします。

掲載内容

1. 全般動向（内閣府発表 景気動向指数より）
2. 各経済指標
 - ・内閣府公表 月例報告、機械受注統計調査報告 より
 - ・経済産業省公表 鉱工業指数調査より
3. その他の動向

1. 全般動向

■ 景気動向指数 令和 2（2020）年 5 月分（速報）の概要 （内閣府、令和 2（2020）年 7 月 7 日発表 より抜粋）

- ① 5 月の CI（速報値・平成 27(2015)年=100）は、
先行指数：79.3、一致指数：74.6、遅行指数：94.0 となった。

先行指数は、前月と比較して 1.6 ポイント上昇し、3 か月ぶりの上昇となった。
3 か月後方移動平均は 4.07 ポイント下降し、3 か月連続の下降となった。
7 か月後方移動平均は 1.78 ポイント下降し、24 か月連続の下降となった。

一致指数は、前月と比較して 5.5 ポイント下降し、4 か月連続の下降となった。
3 か月後方移動平均は 6.36 ポイント下降し、8 か月連続の下降となった。
7 か月後方移動平均は 2.99 ポイント下降し、19 か月連続の下降となった。

遅行指数は、前月と比較して 3.8 ポイント下降し、5 か月連続の下降となった。
3 か月後方移動平均は 2.43 ポイント下降し、9 か月連続の下降となった。
7 か月後方移動平均は 1.27 ポイント下降し、10 か月連続の下降となった。

- ② 一致指数の基調判断
景気動向指数（CI 一致指数）は、悪化を示している。

詳細は以下の内閣府 ホームページをご参照下さい。

- ・景気動向指数「令和 2(2020)年 5 月分（速報）の概要」pdf へ：
<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202005psummary.pdf>
- ・（ご参考）内閣府「景気動向指数」関連 TOP ページ：
<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/di.html>

2. 各経済指標

■ 月例経済報告（7月）（内閣府、令和2年7月22日公表） （月例経済報告等に関する関係閣僚会議資料より抜粋）

<日本経済の基調判断>

（現状）

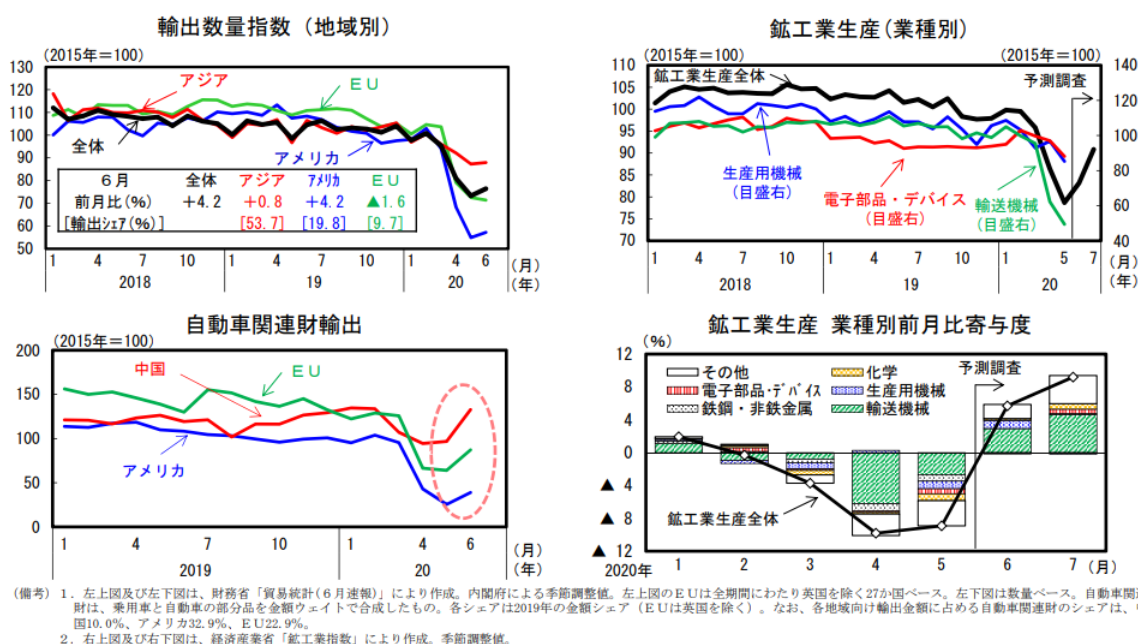
- ・ 景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、このところ持ち直しの動きがみられる。

（先行き）

- ・ 先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていくなかで、各種政策の効果もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されるが、感染症が内外経済に与える影響に十分注意する必要がある。また、令和2年7月豪雨等の経済に与える影響や金融資本市場の変動に十分留意する必要がある。

今月のポイント(2) 輸出・生産

- 輸出は、海外の経済活動再開の動きを受け、下げ止まりつつある。自動車関連財の輸出が、中国・アメリカ・EU向けいずれも底打ち。
- 生産は、予測調査によれば、5月を底に6月以降持ち直しに転じる見通し。特に、自動車を含む輸送機械の増加寄与が大きい。



詳細は以下より内閣府 月例経済報告等に関する関係閣僚会議資料をご参照下さい。

（7月例経済報告資料 pdfへ）：
<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/2020/07kaigi.pdf>

（ご参考）内閣府「例経済報告等に関する関係閣僚会議資料」関連 TOP ページ：
<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/kaigi.html>

■ 設備投資 令和2年5月実績：機械受注統計調査報告
(令和2年7月9日 内閣府 経済社会総合研究所 公表より抜粋)

1. 機械受注総額の動向をみると、2020（令和2）年4月前月比8.3%減の後、5月は同11.0%減の1兆8,685億円となった。
2. 需要者別にみると、民需は前月比10.5%減の8,983億円、官公需は同44.2%増の3,745億円、外需は同18.5%減の5,616億円、代理店は同10.0%減の948億円となった。
3. 民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」の動向をみると、2020（令和2）年4月前月比12.0%減の後、5月は同1.7%増の7,650億円となった。このうち、製造業は同15.5%減の2,824億円、非製造業（除く船舶・電力）は同17.7%増の4,783億円となった。

対前月(期)比

(単位:%)

需要者	期・月	2019年 (平成31年) 4-6月 (実績)	2019年 (令和元年) 7-9月 (実績)	10-12月 (実績)	2020年 (令和2年) 1-3月 (実績)	4-6月 (見通し)	2020年 (令和2年) 2月 (実績)	3月 (実績)	4月 (実績)	5月 (実績)
受注総額		-1.3	1.8	-5.4	3.9	-4.7	-6.9	3.0	-8.3	-11.0
民需		6.3	0.1	-4.3	-5.1	2.8	3.1	-3.9	2.6	-10.5
〃（除船電）		7.8	-4.7	-1.8	-0.7	-0.9	2.3	-0.4	-12.0	1.7
製造業		2.3	-3.5	-2.8	1.8	-3.6	-1.7	-8.2	-2.6	-15.5
非製造業（除船電）		14.3	-9.3	3.6	-5.1	2.4	5.0	5.3	-20.2	17.7
官公需		29.7	-4.9	-10.5	25.5	4.6	-39.1	17.1	-7.2	44.2
外需		-13.4	5.8	-7.9	8.7	-13.7	2.7	-1.3	-21.6	-18.5
代理店		-0.5	-4.0	-3.1	3.6	-6.1	-2.7	-3.3	-8.9	-10.0

(備考) 季節調整値による。季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。

詳細は以下の内閣府 ホームページをご参照下さい。

- ・ 令和2年5月実績：機械受注統計調査報告
<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/2020/2005juchu.html>
- ・ (ご参考) 統計表一覧：機械受注統計調査報告関連 TOP ページ :
<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html>

■ 鉱工業指数調査 結果の概要【2020年5月分】
 (経済産業省 2020年7月14日発表 より抜粋)

<概況>

- ・ 製造工業生産能力指数は、97.7で前月比0.0%の横ばい。
 上昇業種： 生産用機械工業同0.6%、窯業・土石製品工業同0.1%、
 石油・石炭製品工業同0.1%
 低下業種： 汎用・業務用機械工業同-0.5%、その他工業同-0.1%
- ・ 製造工業稼働率指数は、70.6で前月比-11.6%の低下。
 低下業種： 輸送機械工業同-22.0%、汎用・業務用機械工業同-18.3%、
 生産用機械工業同-15.3%等すべての業種

製造工業生産能力指数、2015年=100

生産能力	原指数		
	指数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
	97.7	0.0	-0.2

製造工業稼働率指数、2015年=100

稼働率	季節調整済指数		原指数	
	指数	前月比 (%)	指数	前年同月比 (%)
	70.6	-11.6	66.5	-33.4

鉱工業指数、2015年=100

	季節調整済指数		原指数	
	指数	前月比 (%)	指数	前年同月比 (%)
生産 (速報値)	78.7 (79.1)	-8.9	72.2 (72.6)	-26.3
出荷 (速報値)	76.8 (77.2)	-8.9	69.8 (70.1)	-26.8
在庫 (速報値)	103.3 (103.4)	-2.6	104.6 (104.7)	-0.5
在庫率 (速報値)	148.6 (148.1)	7.3	161.0 (160.5)	40.7

<2020 年 5 月の製造工業生産能力指数・稼働率指数の動向>

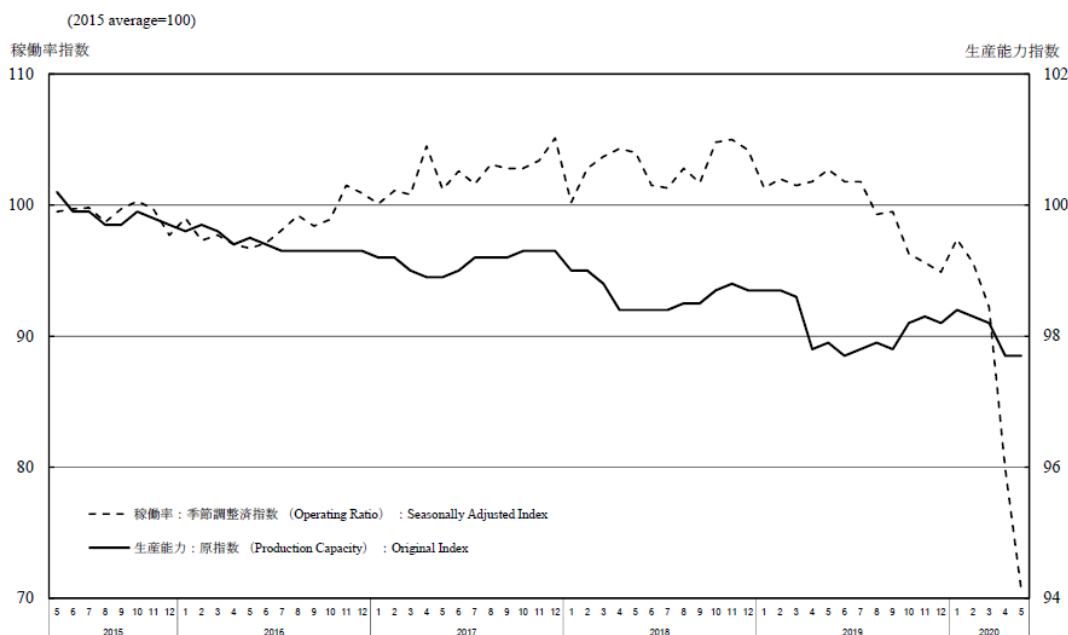
製造工業生産能力指数・稼働率指数の時系列表
Historical Data for Indices of Production Capacity and Operating Ratio

index.2015= 100

index_2019-1

年 月	生産能力(末) Production Capacity			稼働率 Operating Ratio				Year and Month	
	原指数 Original Index		季節調整済指数 Seasonally Adjusted Index		原指数 Original Index				
	前月(期)比 %Change From Previous Month(Quarter)	前年 (同月期)比 %Change From Previous Year		前月(期)比 %Change From Previous Month(Quarter)		前年 (同月期)比 %Change From Previous Year			
2017 年	99.3		0.0			102.3	3.9	C.Y.	2017
2018	98.7		-0.6			103.1	0.8	C.Y.	2018
2019	98.2		-0.5			99.9	-3.1	C.Y.	2019
2017 年度	98.8		-0.2			102.7	3.5	F.Y.	2017
2018	98.6		-0.2			102.5	-0.2	F.Y.	2018
2019	98.2		-0.4			98.3	-4.1	F.Y.	2019
2019 年 I 期	98.6	-0.1	-0.2	101.6	-3.0	101.6	-2.1	Q1	2019
II 期	97.7	-0.9	-0.7	102.1	0.5	101.2	-0.6	Q2	
III 期	97.8	0.1	-0.7	100.2	-1.9	100.5	-0.5	Q3	
IV 期	98.2	0.4	-0.5	95.6	-4.6	96.3	-8.9	Q4	
2020 年 I 期	98.2	0.0	-0.4	95.1	-0.5	95.2	-6.3	Q1	2020
2019 年 3 月	98.6	-0.1	-0.2	101.5	-0.5	107.6	-4.1	Mar.	2019
4 月	97.8	-0.8	-0.6	101.8	0.3	101.7	-0.4	Apr.	
5 月	97.9	0.1	-0.5	102.7	0.9	99.9	0.1	May	
6 月	97.7	-0.2	-0.7	101.8	-0.9	102.0	-1.4	Jun.	
7 月	97.8	0.1	-0.6	101.8	0.0	107.9	2.8	Jul.	
8 月	97.9	0.1	-0.6	99.3	-2.5	92.3	-4.9	Aug.	
9 月	97.8	-0.1	-0.7	99.5	0.2	101.3	0.4	Sep.	
10 月	98.2	0.4	-0.5	96.3	-3.2	98.5	-8.7	Oct.	
11 月	98.3	0.1	-0.5	95.6	-0.7	96.1	-10.4	Nov.	
12 月	98.2	-0.1	-0.5	94.9	-0.7	94.4	-7.5	Dec.	
2020 年 1 月	98.4	0.2	-0.3	97.4	2.6	93.6	-3.9	Jan.	2020
2 月	98.3	-0.1	-0.4	95.6	-1.8	92.6	-7.3	Feb.	
3 月	98.2	-0.1	-0.4	92.2	-3.6	99.4	-7.6	Mar.	
4 月	97.7	-0.5	-0.1	79.9	-13.3	79.8	-21.5	Apr.	
5 月	97.7	0.0	-0.2	70.6	-11.6	66.5	-33.4	May	

製造工業生産能力指数・稼働率指数の推移(グラフ)
Historical Data (Graph) for Indices of Production Capacity and Operating Ratio



詳細は以下の経済産業省 ホームページをご参照下さい。

・ 鉱工業指数関連 結果の概要ページ :

<https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

・ 2020 年 5 月の製造工業生産能力指数・稼働率指数の動向 (pdf) 資料

https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/pdf/press/b2015_202005nj.pdf

3. その他の動向

■ 電子部品グローバル出荷統計

(一社) 電子情報技術産業協会 (JEITA)、2020 年 6 月 30 日発表より抜粋)

【2020 年 4 月動向概況】

- ・ 2020 年 4 月のグローバル出荷額は 2,627 億円、前年比 83.8%となり、前年比マイナスとなった。
- ・ 品目別出荷は受動部品（前年比 89.6% 1,210 億円）、接続部品（同 75.2% 612 億円）、変換部品（同 71.6% 382 億円）、その他の電子部品（同 97.2% 421 億円）となった。
- ・ 地域別出荷は日本（前年比 85.3% 606 億円）、米州（同 43.2% 150 億円）、欧州（同 50.0% 170 億円）、中国（同 111.3% 1,180 億円）、アジア・その他（同 77.1% 523 億円）となった。

【月別出荷金額】

1. 月別出荷金額 (2020.06.30 発表：毎月更新)

電子部品出荷額 (億円)	2020年度						2020年度累計	
	4月		5月		6月		4月-4月	
	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)
世界計	2,627	83					2,627	83
(日本)	606	85					606	85
品 目 別	受動部品	1,210	89				1,210	89
	コンデンサ	887	91				887	91
	抵抗器	108	83				108	83
	トランス	26	70				26	70
	インダクタ	183	88				183	88
	その他	4	166				4	166
	接続部品	612	75				612	75
	スイッチ	209	53				209	53
	コネクタ	400	96				400	96
	その他	2	59				2	59
	変換部品	382	71				382	71
	音響部品	76	66				76	66
	センサ	166	85				166	85
	アクチュエータ	139	62				139	62
	その他の電子部品	421	97				421	97
	電源部品	145	92				145	92
	高周波部品	276	99				276	99

【地域別出荷金額】

«2020年度»

地域別出荷金額 (億円)	2020年度						2020年度累計	
	4月		5月		6月		4月-4月	
	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)
グローバル	2,627	83					2,627	83
日本	606	85					606	85
米州	150	43					150	43
欧州	170	50					170	50
中国	1,180	111					1,180	111
アジア他	523	77					523	77

詳細は以下の JEITA（電子情報技術産業協会）ホームページをご参照下さい。

https://home.jeita.or.jp/ecb/information/info_stat.html

以上